

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2925 号 2016.3.25 発行

<金口木舌>逃げ込める扉

琉球新報 2016年3月24日

両親の暴力から逃れ、コンビニに駆け込んだこともあったという。助けて、という叫び声を多くの人が聞いたはずなのに、救えなかったことが悲しく悔しい▼親から虐待を受けて、自殺を図った男子中学生が息を引き取った。虐待から逃れようと、生徒は児童相談所に助けを求めたが、職権による保護は見送られたという▼過去にいじめ問題で取材した女性は小学生で父親の暴力から逃れ、母や弟妹と保護施設に入った。つらい記憶は長く残り、他人が手を上げるしぐさをするだけで、たたかれると思いきょとおびえたという▼中学生までいじめは続き、不登校になった。大人になった彼女は「いじめる方は、体の大きな私がちょっとしたことにびくつくのが面白かったんでしょうね」と淡々と話したが、おびえる背景にあった虐待を思うと胸が痛んだ▼児童相談所は親が同意しなくても子どもを強制的に引き離して一時保護する職権がある。同時に親子関係を改善する役割も担う。相矛盾する役割が、一時保護をためらう傾向につながることはたびたび指摘されていた▼しかし生徒は保護を求めている。親から逃げたいと願うのはよほどのことだろう。顔にあざがあることも学校は確認していた。一時保護を真っ先に考えていれば、と思わずにはいられない。逃げ込める場所の扉は大人が開くしかない。

「虐待死の疑い」と医師が判断 全国で154人 NHKニュース 2016年3月24日

虐待によって死亡した疑いがあると医師が判断した子どもが5年間に全国で154人に上り、このうち事件として起訴されるなどしたのは1割にとどまっていることが厚生労働省の研究班によるアンケート調査で明らかになりました。研究班の医師は「多くの虐待死が埋もれている可能性がある」と指摘しています。

小児科医などでつくる厚生労働省の研究班は、全国962の医療機関を対象に院内で死亡した18歳未満の子どものうち医師が虐待を疑ったケースについてアンケート調査を実施し、ことし1月までに38%に当たる371の医療機関から回答を得ました。

調査結果によりますと、平成26年度までの5年間に虐待によって死亡した疑いがあると医師が判断した子どもは154人に上り、およそ3分の2に当たる65%が0歳児でした。154人のうち、医学的に虐待以外では説明がつかない「確実」と医師がみているのは42人で、「断定」には至らないものの、「可能性が大きい」とされたのが39人でした。

ほかの73人は「虐待の疑いを否定できない」という回答でした。

ほとんどは、医療機関から警察に通報したということですが、今回の調査で、事件として起訴されたり児童相談所などが虐待事例として検証を行ったりしたケースが1割にとどまっていることが明らかになりました。

子どもの虐待死を巡っては、医療機関が通報しても、家庭の中という密室であるうえ、親が虐待を認めないなどして、原因の特定が難しいケースが少なくないという指摘があります。

研究班のメンバーで小児科医の溝口史剛さんは、「今回の調査で分かった虐待の疑いがある

る死亡も氷山の一角とみられ、多くの虐待死が埋もれている可能性がある」と指摘しています。

虐待死の疑い 具体的事例

今回のアンケートでは、医師が虐待を疑ったきっかけとして、赤ちゃんの体に殴られたようなあざがいくつも見つかったり、「揺さぶられ症候群」と呼ばれる虐待にみられる脳内の出血があったことなどが多く挙げられています。

このうち、東海地方の病院が「虐待の可能性が大きい」と回答したケースでは、心肺停止の状態に運ばれ、死亡した赤ちゃんの顔や体にいくつもの不審なあざやすり傷が見つかったということです。

両親は「心当たりがない」と話したということですが、赤ちゃんが心肺停止になる10日ほど前の乳幼児健診でも、体に爪でひっかかれたような傷などが見つかったということです。

この赤ちゃんは病院に運ばれる直前、自宅で父親と2人きりで、母親は「子どもが泣くと夫がいらいらして乱暴に扱うのが気になる」と話したということです。

虐待を疑った病院は警察と児童相談所に連絡しましたが、その後、親が立件されたり、児童相談所で再発防止の検証が行われたりすることはなかったということです。

当時の捜査関係者はNHKの取材に対し、「親は虐待を認めておらず、死因と虐待との因果関係がはっきりとせず、虐待死と断定はできなかった」と話しています。

元検事「立件できないケース出てくる」

元検事で、刑事事件の捜査に詳しい落合洋司弁護士は、「立件するには、いつ、どこで、誰がどんな行為をしたのかを特定する必要があるが、虐待は家庭内という密室で行われるため、証拠が断片的なものしかないことが多い。虐待を素直に認める親も少なく、立件できないケースはどうしても出てきてしまう」と話しています。

そのうえで、「虐待の確証がないケースでも、児童相談所は子どもを保護すべきときがある。そのために捜査機関とも情報を共有して、児童相談所が対応できる範囲を広げていく必要がある」と指摘しています。

介護離職のない社会へ 政策提言の団体が発足 NHKニュース 2016年3月24日

家族の介護を理由に仕事を辞める「介護離職」をなくそうと労働団体やNPOなどが連携して、国への政策提言を行う団体を発足させました。

23日は東京・千代田区で、「介護離職のない社会をめざす会」の発足を記念したフォーラムが開かれ、労働団体の連合や介護者を支援するNPOなど14の団体の関係者が出席しました。

この中では、認知症の母親の介護のために仕事を辞めた男性が講演し、収入が減って生活に余裕がなくなった現状を明かしたうえで、「介護離職を減らすには、仕事と介護の両立の支援が欠かせない」と訴えました。

また、連合の担当者が、介護施設への入居を希望する高齢者のおよそ2割は、入居までに1年以上かかっているという調査結果を報告し、介護を担う家族が、仕事と両立できるよう介護休業の期間の延長など制度を改善する必要があると指摘しました。

会は、年間およそ10万人に上る介護離職をなくすことを目指し、国への政策提言を行っていくことにしています。

「介護離職のない社会をめざす会」の樋口恵子代表は、「介護離職は、社会にとって大変な損失で絶対に防がなくてはならない。高齢化と少子化によって迎える『大介護時代』を乗り切れるよう連携していきたい」と話しています。

残業 80 時間で立ち入り調査 対象、300 万人に拡大 政府、長時間労働の抑制狙う

日本経済新聞 2016年3月24日

政府は長時間労働に歯止めをかけるため企業への指導を強める。1カ月の残業が100時間に達した場合に行う労働基準監督署の立ち入り調査について、基準を月80時間まで引き下げる方向だ。労働基準法違反があれば是正勧告などの措置をとる。労働の生産性を高めて長時間労働を減らすことで、子育て中の女性や高齢者が働きやすい環境を整える狙いだ。ただ目先は企業にとって負担となる可能性もある。

視線計測で客観的な診断を 成人男性のASD 中日新聞 2016年03月23日

2分間ほどの映像を見せることにより8割の確率で成人男性の自閉スペクトラム症(ASD)を診断できたとする研究成果を、福井大などのチームがまとめた。幼児期に発見できず、大人になって社会に適応できなくなるケースもあるため、客観的な判別方法として活用が期待できるという。英国の電子科学誌「モレキュラー・オーティズム」に23日、掲載された。

ASDは自閉症やアスペルガー障害などの発達障害を統合した呼び方。人と視線が合わない、他者への共感が乏しいなどの特徴があり、日常生活に困難が生じる場合にASDと診断される。医師が本人や保護者に幼児期のエピソードなどの聞き取りをして診断するが、成人後はうつ病などと誤診される人もいるため、客観的な基準の必要性が指摘されていた。

研究では、ASDと診断された15～41歳の男性26人と健常な男性35人に、人の顔や人物、幾何学模様などの映像を見てもらい、視線の動きを測定。分析した結果、ASDの人を81%、健常者を80%の確率で判別できた。

研究チームはASDは男性に多くみられる障害だとして、今回は男性のみを対象としたが、今後は男女1000人に増やし、調査を2018年度まで続ける方針。福井大子どものこころの発達研究センターの小坂浩隆特命教授(42)は「誤診で効果のない薬を処方されていた例もある。研究がASDの早期発見に役立つ補助手段になれば」と話す。

障害ある生徒にロボット先生、緊張せず発言増加 読売新聞 2016年03月23日



英語の授業で、「オリヒメ」と会話する生徒(手前)を見守る植田さん(大阪府藤井寺市で)

関大グループが研究

ロボットを障害のある生徒の“教師役”として使うユニークな研究を、関西大の久保田賢一教授(教育学)らのグループが進めている。今年に入って大阪府立藤井寺支援学校(藤井寺市)の英語の授業で試験的に導入され、障害の影響で人との会話が苦手な生徒の発言が増える効果があったという。グループは「ロボットの親しみやすさで、学習意欲を高められる可能性がある」としている。

「グッドモーニング」。同支援学校で2月下旬に行われた英語の授業。遠隔操作型のコミュニケーションロボット「OriHime(オリヒメ)」(高さ約20センチ、重さ約500グラム)が英語で

あいさつした。声の主は、グループの山本良太・東京大特任助教で、東京都内からオリヒメを操作した。

生徒は、体に障害のあるクラスに在籍する高校3年生2人、2年生1人。

いずれも幼い頃から入退院を繰り返したため、学習の機会が制限され、人との会話に慣れていないが、高校3年の男子生徒(18)が「Do you know 『USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)』?」などと質問。すると、オリヒメは羽のような小さな腕と首を小刻みに動かし、「I know USJ」と答えた。男子生徒は「友達みたい。人と話すより緊張しない」と笑顔を見せた。

久保田教授らは2008年から、大阪大病院に入院中の子供が通う院内学級で、情報技術（IT）を使って教育支援する「小児科プロジェクト」を開始。タブレット端末などで遠隔操作できるオリヒメに注目した。

久保田教授の研究室に在籍していた植田詩織さん（27）が教諭を務める藤井寺支援学校から、「試験的に使いたい」と申し入れがあり、今年1月から導入された。植田さんによると、生徒たちは普段、顔見知りではない外部の先生が来ると緊張で会話できない傾向があるとし、「オリヒメだと生き生きと会話するので驚いた。来年度以降の使用継続を検討したい」と語る。

久保田教授は「アニメに出てくるような小さなロボットだから、生徒も緊張がほぐれるのだろう。ロボットの管理などの課題はあるが、導入してくれる学校を増やしたい」と話す。

ロボットを使った教育支援に詳しい吉川大弘・名古屋大准教授（人工知能）の話「人付き合いが苦手な生徒のコミュニケーションを促すロボットの効果には注目が集まっている。オリヒメの障害者に対する教育効果も十分期待できる」

音羽シェフから証明書 障害者施設職員がジャムづくり 下野新聞 2016年3月24日



障害者施設の職員が作った商品の味をチェックする音羽さん（右）＝23日午前、宇都宮市西原町

障害者施設を対象にした新商品開発研修会が23日、宇都宮市西原町のオトワレストランで開かれた。同レストランオーナーシェフの音羽和紀（おとわかずのり）さん（68）が、県内19施設の職員が作ったイチゴジャムの中から8施設の商品を「音羽シェフ監修のジャム」と認めた。

19施設の職員は事前に音羽さんからジャム作りを学んでおり、この日は施設で作ったジャムを持ち寄った。音羽さんは商品の味や香り、色合いなどをチェックし、基準を満たした8施設に証明書を交付した。

証明書を受け取った壬生町の「むつみの森」の臼井真由美（うすいまゆみ）さん（44）は「自信が無かったのが驚いた。生のイチゴを使って期間限定で販売し、施設利用者の賃向上につなげたい」と話していた。

奇跡の学びを手にした少女 タブレットで言葉も計算も 宮坂麻子



朝日新聞 2016年3月24日
画面上の筆算には、1の桁は黄色、10の桁は緑色が順につく。それを見ながら計算し、プリントに答えを書いていく永石日香莉さん＝佐賀県の武雄市立西川登小学校 テクノロジーによって、「奇跡のような学び」



を手にした少女がいる。

「コンニチワ」「ワタシノナマエハ ナガイシヒカリデス」

タブレット端末から音声がかえってきた。小さな指が画面上のキーボードを素早くタッチし、最後に「音声ボタン」を押すと、「声」に変わる。

先生が「7 + 5」というカードを見せると、「12」とタブレットの「声」で即答。漢字カードの「月」を見せると「ゲツ ツキ」、「日」を見せると「ニチ ヒカ」――。



「あっ、あっ」と、笑顔で声を上げるのは、永石日香莉さん（7）。市立小中学校に1人1台、タブレット端末を導入したことで知られる佐賀県武雄市の市立西川登小学校の1年生だ。



言葉はしゃべれない。

生まれてすぐ四肢短縮症と診断され、1歳まで病院のNICU（新生児集中治療室）に入っていた。首がすわったのは5歳。難聴で視力も弱い。身長も体重も同年齢の半分程度で、自力ではまだ立てない。

生後5カ月で気管切開してから入学まで、ほとんど声を出したことがなかった。嫌な時は足をバタバタさせるか、黙って涙をこぼすか……。ベビーベッドの中で転がって、1日を過ごしていた。それでも両親が、学区の公立小学校への入学を強く希望したのは、理由がある。



成年後見の促進法成立へ 市民後見人の育成促す 畑山敦子、蔭西晴子

朝日新聞 b2016年3月24日



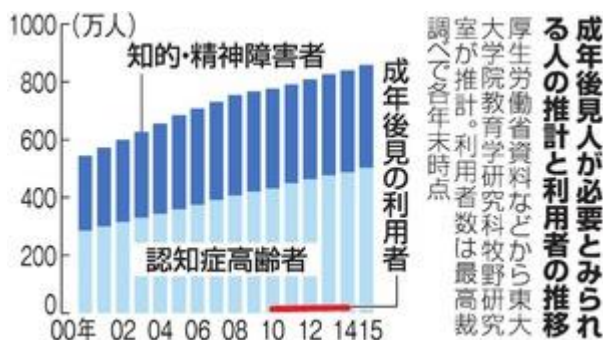
後見している男性（左）が暮らす特別養護老人ホームを訪ねた市民後見人の女性。「(今年の)桜花賞は?」「いつだったかな」など、世間話をして過ごした=東京都内

十分な判断能力がない人の財産管理を担う成年後見人を増やすため、新しい法律ができる。衆院内閣委員会は23日、成年後見制度の利用促進を目指す議員立法を自民、公明、民主の各党などの賛成多数で可決。月内に成立し、施行される。認知症の高齢者が増えるなか、専門家ではない市民後見人の育成

を促す狙いだ。

■長時間の研修、高齢者が中心

公共料金やスーツ代などの請求書や督促状が郵便で次々と届く。家賃は滞納したまま……。5年前、東京都品川区で一人暮らしをしていた認知症の男性（81）の市民後見人となった女性（68）は、料金の未払いがたくさんあることに気づいた。



成年後見人が必要とみられる人の推計と利用者の推移

仕事で得たスキル 育児中の社会貢献に 発想柔軟「ママボノ」活躍

中日新聞 2016年3月23日

職業で得た技術を生かして、育児中に社会貢献する女性たちが増えている。この活動は「ママボノ」と呼ばれ、新たなボランティアの形として注目されている。（稲熊美樹）
「カンパイチャリティキャンペーン」など消費者市民社会の意義を伝える田口さおりさん（右）＝名古屋市東区のナゴヤドームで



『カンパイチャリティキャンペーン』の参加店で生ビールを飲めば、子どもたちへの寄付につながりますよ」

2月末、名古屋市東区のナゴヤドームで開かれた女性向けイベント。田口さおりさん（40）＝愛知県北名古屋市＝が、来場した親子連れに声を掛けた。田口さんは小学4年の男の子がおり、普段はフリーでイベントの企画、運営の仕事をしている。

チャリティでは、客が飲んだビール1リットルにつき1円を、ビール納入業者が子ども基金に寄付する。ママ目線で活動を推進しようと、田口さんらがこの日の女性向けイベントに出展。「たくさんの人にチャリティを知ってもらえました」と笑みを見せた。

チャリティを企画したあいちコミュニティ財団（名古屋市）の木村真樹代表理事は「高度なスキルを持ったボランティアを集めるのは、なかなか難しい。そこで発想が柔軟で“共感力”がある女性に目を付けた」と、チャリティにママボノを絡めた意図を語る。

ママボノに取り組む女性にとっても、自分の活動の場が広がることは喜びにつながる。

「一歩踏み出して、自分の見識を広げ、成長したいと思った」。田口さんとともに活動している屋部清花さん（32）＝名古屋市名東区＝は参加理由を話す。小売業の会社員で、3歳と1歳の女の子の母だが、長女の出産を機に、2012年から4年間、育休などを利用して仕事を休んでいる。「仕事への復帰に向けて、少しずつ社会との関わりを増やしていけそうです」

ママボノ 語源は、「公共善のために」を意味するラテン語「プロボノ」。日本財団とNPO法人「サービスグラント」（ともに東京）が“ママ版”として造語し、女性の活動の場を提供している。

自分の技術を生かしたいママたちと、支援を求める団体を橋渡ししているサービスグラントによると、団体は平日の日中に支援を求めることが多く、この時間帯に活動できるのはママだったことから、ママボノが始まったという。

同NPOが募集した2カ月ほどの短期のママボノには、これまでに30人以上が参加。橋渡し先は、共働き家庭の自宅の片付け支援や、草の根の国際交流を進めるNPO。プロジェクトの進行管理やマーケティング、新規事業の提案などをしてもらった。

嵯峨生馬（いくま）・代表理事は「育休中の女性は、復帰後すぐに質の高い働き方を迫られるため、復職への不安感が強い」という。

ママボノは復職前のウォーミングアップとして、普段の仕事とは違った体験ができる。「ママボノでプロジェクト管理やリーダーの仕事を経験すれば、管理職になる前の練習にもなる。今後もママボノの活動を広めたい」と強調する。

小規模保育所の定員拡大へ 「保育園落ちた」で政府検討 朝日新聞 2016年3月24日

認可保育施設などに入れない待機児童問題をめぐり、政府・与党は小規模保育所の定員枠を緩めて保育の受け皿を増やす検討に入った。4月時点で入れない待機児童の緊急対策として月内にも打ち出す方針だ。

小規模保育所は認可保育所より小さい面積で設置できるため、空き店舗やマンションの一室を活用して短期間で整備できる。土地や物件を確保しにくい都市部を中心に、待機児童の8割以上を占める0～2歳児の受け皿として整備が進められている。

定員の上限は19人だが、政府・与党は20人以上の子どもが入れるように規制を緩めることを検討。定員枠の増加分は数人ほどが軸になりそうだ。緩和する対象を待機児童が多い地域に限定したり、期限を設けたりすることも考えている。

待機児童の対策は、「保育園落ちた日本死ね!!!」と題した匿名のブログをきっかけに、親からの要望が強まっている。自民党と公明党は今週中にも対策案をまとめ、厚生労働省などはこれを踏まえて緊急対策を打ち出す方針だ。ただ、保育職員の人数を増やさずに入所できる子どもの数を増やせば、保育職員の目が行き届かなくなるといった質の低下を招く恐れがある。(伊藤舞虹、池尻和生)

〈小規模保育所〉 原則0～2歳の乳幼児を対象に預かる定員6～19人の認可保育施設。昨年4月に始まった「子ども・子育て支援新制度」で新たに認可対象となった。保育職員の全員に保育士資格が求められる認可保育所と異なり、職員の半数以上が保育士であれば認可を受けられる場合がある。昨年4月時点で東京都、埼玉県、大阪府などの都市部を中心に1655カ所が認可され、約2万5千人分の受け入れ枠がある。

「児相、子への面接不十分」 一宮の5人無理心中、検証委が報告書

中日新聞 2016年3月24日

一宮市の集合住宅で二〇一五年五月、無理心中とみられる母子五人の遺体が見つかった事件で、県一宮児童相談センター(児童相談所)は一三年五月まで、ネグレクト(育児放棄)の疑いで、飲食店経営の母親=当時(35)=を継続的に指導していたことが分かった。有識者による県の検証委員会が二十三日公表した検証報告書で明らかにした。

事件では、母親が知人男性に「死にたい」と電話した翌日、一宮署員が自宅を訪れ、母親のほか、高校一年の長女(15)、小学六年の次女(12)、小学五年の三女(10)、小学四年の長男(9つ)=年齢はいずれも当時=の一家全員の遺体を発見した。

五人の遺体があった部屋には、練炭を燃やした痕跡があり、司法解剖の結果、五人とも死因は一酸化炭素中毒と推定された。

検証報告書によると、センターが最初に虐待通告を受けたのが一二年五月。母親が不在がちで体調も悪く、長女が食事を作ったり家事をしたりしていた。母親は「子どもと自殺しようかと思ったこともある」と話した。

センターは月一回の家庭訪問を続け、一三年一～二月には子ども四人を一時保護したが、「母親の状態が落ち着いた」として一三年五月に継続指導を終えた。

母子5人が亡くなった事件をめぐる経緯	
2011年10月	母親が療育相談所に電話相談
12年5月	県一宮児童相談センターが虐待通告を受け、一宮市に見守りを依頼
7月	センターが虐待通告を受け、継続指導を開始
13年1月	母親が「施設に預けたい」と相談。センターが4人を一時保護
2月	センターが「母親の体調が落ち着いた」と一時保護を解除
5月	センターが継続指導を終了し、市に事案を引き継ぐ
14年4月	警察が母親を保護し、虐待通告。センターは継続指導を見送る
10～11月	子どもらが通う小中学校が市教委に長期欠席を報告
15年5月	母親が知人男性に「死にたい」と電話。5人の遺体が見つかる

※検証報告書から抜粋

一四年四月に再び育児放棄の連絡を受けたが、母親は「精神状態には波がある。今は普通の状態」と説明したため、センターは継続指導の対象にはしなかった。

検証委は、一時保護を解除したり、継続指導を見送ったりしたセンターの判断について「母から状況を聞くのみだった」と情報収集不足に言及。子ども四人からの聞き取りもなかったとして「支援の中心にあるべき子どもへの面接が不十分だった」と問題視した。

再発防止に向けた提言として、児相や関係機関による市町村の要保護児童対策地域協議会だけでは「継続的に支援するのは困難」と指摘。各地域の民生・児童委員や通院先の医療機関、学校などと連携した支援体制づくりを求めた。(赤川肇)

＜児童虐待事件の検証＞ 虐待の重大事案を検証する責務を国や自治体に課した2008年施行の改正児童虐待防止法を踏まえ、厚生労働省が「検証対象は、虐待による死亡事例(心中を含む)全てが望ましい」と通知。県の検証委は大学教授や小児科医、弁護士ら6人で構成され、検証は今回の事件が3件目となる。

漫才のツッコミ風とは言え… 暴行の元女性スタッフ書類送検

産経新聞 2016年3月23日

大阪市大正区の障害児向け学童保育施設で利用者の男子中学生(15)をたたいたとして、大正署は23日、暴行の疑いで元ボランティアスタッフの女性(19)＝同区＝を書類送検した。

送検容疑は昨年3月ごろ、施設内で男子中学生の頭を平手でたたいた疑い。

大正署によると「漫才の突っ込みのようなつもりで、日常的にたたいていた」と話している。署は厳しい処分を求めない意見を付けた。

男子中学生は心的外傷後ストレス障害(PTSD)と診断された。保護者が昨年12月、被害届を提出していた。

大阪市は虐待や給付金約770万円の不正受給があったとして、3月末で施設の事業者指定を取り消す。

衝撃！「五体不満足」の乙武洋匡、5人との不貞関係発覚で政界進出見送り！？

アサゲイプラス 2016年3月24日

詐称なき立派な経歴、軽妙洒脱なトーク、そして障害者のイメージを覆した存在感。スポーツライター、キャスター、教育者として活躍し、来たる参院選で自民党からの出馬が噂されている乙武洋匡氏に、衝撃のスキヤンダルが報じられた。5人もの不貞相手がいたというのだ。

このスクープは3月24日発売の「週刊新潮」によるものだ。

「記事には、今年のクリスマスに20代後半の女性と男性スタッフの3人でチュニジアとパリを旅行したことが書かれています。この男性スタッフは“ダミー”で、滞在したあるホテルでは乙武と女性がダブルの部屋に泊まったのだとか。後日、乙武に直接取材したところ肉体関係を認め、さらにこれまでに5人と不貞関係を持ったことを告白したのです」(芸能ライター)



清廉なイメージ、教育者としての立場など、すべてを瓦解させるこのスクープ。もちろん、政界進出にも影響がないはずがない。

「乙武は4月5日、自身の40歳になる誕生日の前日に、盛大な誕生パーティを開催する予定で、ここで出馬を発表するのではと目されています。しかし、これまで見せてきた表向きの顔とはまったく逆のダークな素顔が報じられ、批判は避けられません。それでも出馬するなら、自身はもとより、またもや身辺調査が甘かった自民党にも批判の矢が向けられることになるでしょう」(週刊誌記者)

有権者に弁解しながら立候補する前に、奥様とお子さんに時間をかけて罪ほろぼしするほうが先では？



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行